

FOR FUTURE GLOBAL INNOVATORS



国際バカロレア
認定校



大阪府立水都国際中学校
大阪府立水都国際高等学校

OSAKA PREFECTURAL SUITO KOKUSAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

指定管理法人 学校法人 大阪YMCA

OPERATED BY OSAKA YMCA





EXPLORING WHO I AM

AT SUITO KOKUSAI
JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

水都国際という舞台で
「私が私になっていく」

本校は、グローバル化が進む中で、国際理解教育と外国語教育に重点を置きつつ、心、知性、身体のバランスの取れた全人教育を理念の核とする学校です。主体性と寛容性、多様な人を尊重し思いやる豊かな心、探究心、深い思考力、幅広く高い知性を養い、異なる人々と共にによりよく生きる力を育みます。地球的な視野に立ち、地域社会と国際社会の平和と発展に貢献する人を育成することを目標としています。



教育目標

VISION

社会に貢献する 共創力をみがく

CULTIVATE STUDENTS' ABILITY
TO COLLABORATE AND CREATIVELY
CONTRIBUTE TO THE WORLD.

VISION AND PHILOSOPHY

理念

PHILOSOPHY

Philosophy 01 ENCOURAGE

水都国際中学校・高等学校は、生徒や教員が新しいことに挑戦し続けられるようサポートします。自分自身を成長させ、生涯を通して学び続ける素地を養うために、失敗も成功も奨励します。

Philosophy 02 ENGAGE

生徒の興味関心を惹き、生徒自身が中心となって主体的に関わることができる、充実した創造的なプログラムを通して、水都国際中学校・高等学校の生徒は、学術的な専門性と国際社会で活躍できる資質・能力を獲得します。

Philosophy 03 EMPOWER

水都国際中学校・高等学校の生徒は、様々な事象を批判的に思考する方法、意思決定をする方法、チームで協働する方法を学びます。生徒と教員は世界に目を向け、グローバルな環境下で自信を持って行動します。

沿革

HISTORY

- 平成28年 大阪府教育委員会会議において公設民営学校に関する条例上程
- 平成29年 公設民営学校公募開始
- 平成30年 学校法人大阪YMCAが公設民営学校開校を委託され、開設準備室を設置
- 平成31年 大阪府立水都国際中学校・高等学校開校
- 令和 2年 国際バカロレア認定校に指定
- 令和 4年 4月 大阪府へ移管(大阪府立水都国際中学校・高等学校に名称変更)
- 令和 4年 11月 新築棟完成



校歌 SCHOOL SONG

01 輝く海に 吹く風が
私たちの 道しるべ
海鳥のように 進み続ける
存在であれ
嵐が来る こともあるけど
Keep on believing
水都の誇りを胸に抱いて

02 輝く景色 見るために
自分の夢が 道しるべ
海鳥のように とび続ける
存在であれ
怖くても 逃げたくなくても
Keep on challenging
水都の誇りを胸に抱いて

03 協力し合い 作り出す
私たちの 道しるべ
海鳥のように 世界に羽ばたく
存在であれ
いつまでも 希望忘れず
Keep on creating
水都の誇りを胸に抱いて

全国初の公設民営による併設型中高一貫教育校

大阪府立の公立学校

設置者	大阪府
管理・運営	学校法人 大阪YMCA [指定管理法人]

Feature Points! 公設民営による 学校運営の特徴

- 民間法人の管理による柔軟な人事管理制度
- 多様な人材の招へいが可能
- 民間法人の海外ネットワークを活用
- 公立学校としての教育水準、公共性を担保

YMCAとは?

世界120の国と地域で活動している団体でイギリス、ロンドンで1844年に設立されました。現在では世界で6,500万人のメンバーが活動しています。大阪YMCAは1882年に設立されて以来、英語教育、幼児教育、青少年教育、社会教育、生涯学習など様々な分野で活動を展開しています。大阪府立水都国際中学校・高等学校はこのような世界的なネットワークと歴史の蓄積を持つ大阪YMCAのノウハウを活かして運営されます。

21世紀型
スキルを
身につける

3つの教育の柱



英語教育

英語教育に重点を置いた
教育活動

- 01 数学・理科・英語・グローバルスタディーズ/グローバル
— イシュー（国際理解）の授業は原則英語で実施（学年・
コースにより異なります）
- 02 EAL（英語指導助手）のサポートにより、授業内外で英
— 語力を伸ばす環境
- 03 英語ネイティブ教員が全教職員の約30%であるため、
— 学校の中で世界を身近に感じる環境



国際理解教育

自国の伝統や文化に根ざした
国際理解教育に重点を置いた
教育活動

- 01 YMCAの世界120の国と地域に広がる
— ネットワークを活かした教育、海外研修、
国際交流や講演
- 02 海外大学・国内大学との連携：カルガリー
— 大学、トリニティウェスタン大学、ウーロン
ゴン大学、テイラーズ大学、インティ大学
（マレーシア）、スウィンバーン工科大学（マ
レーシア）、大阪公立大学、立命館アジア太
平洋大学（その他進行中）
- 03 多教科でのSDGsを通した学びの展開



＼ カルガリー大学の広大なキャンパス ／



課題探究型授業

自ら課題を発見し
解決することを目的とした
課題探究型授業の実施

- 01 新しい中学校学習指導要領、高等学校学習指導要
— 領でも主眼とされている「自ら学び自ら考える力」
（探究型の学び）「主体的・対話的で深い学び」（アク
ティブラーニング）を日々実践
- 02 高校2年次から始まる国際バカロレアコース、IB科
— 目での学びへのつながり（国際バカロレアについて
はP11-12をご覧ください）
- 03 1人1台端末を活用した、多様な学習方法の実現が
— 可能（中学生・高校生とも貸与、Wi-Fi完備）
- 04 Google Workspace for
— Education（Googleが提供
する円滑な情報活用・協創を
可能とするオンラインサービ
ス）を日常的に利用

事例校



SUITO KOKUSAI JUNIOR HIGH SCHOOL

水都国際中学校

学習指導要領に基づく学習を行うとともに、自ら課題を発見し解決することを目的とした課題探究型授業を多く展開し、生徒の主体的に学ぶ力や豊かな知性の育成をめざします。

特徴

充実した
英語教育

サポート体制
英語指導助手(EAL)による
十分なサポート体制

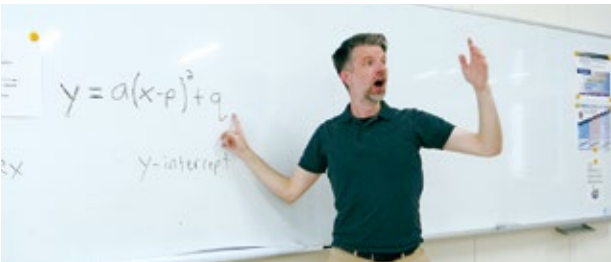
豊富な英語学習環境
英語による授業
[イマージョン授業]
数学・理科・英語などにおいて
原則英語での授業
(学年により異なります)

週33時間授業
標準に比べ週あたり
プラス4時間の授業

授業紹介

◆ 数学

英語ネイティブ教員&日本人教員と一緒に、同級生と協働しながら問題を解き進めます。



◆ コミュニティ&アクション
Suito Action Project for SDGs

SDGsへの貢献を目指し、生徒それぞれの興味関心によって集まった中学1年～高校2年生の混成チームが、様々なプロジェクトを行っています。



◆ 英語

教科書をベースに、ライブラリー貸出の個々のレベルにあった本を用いたレポート作成や単語小テスト等を通し、着実に基礎を固めます。

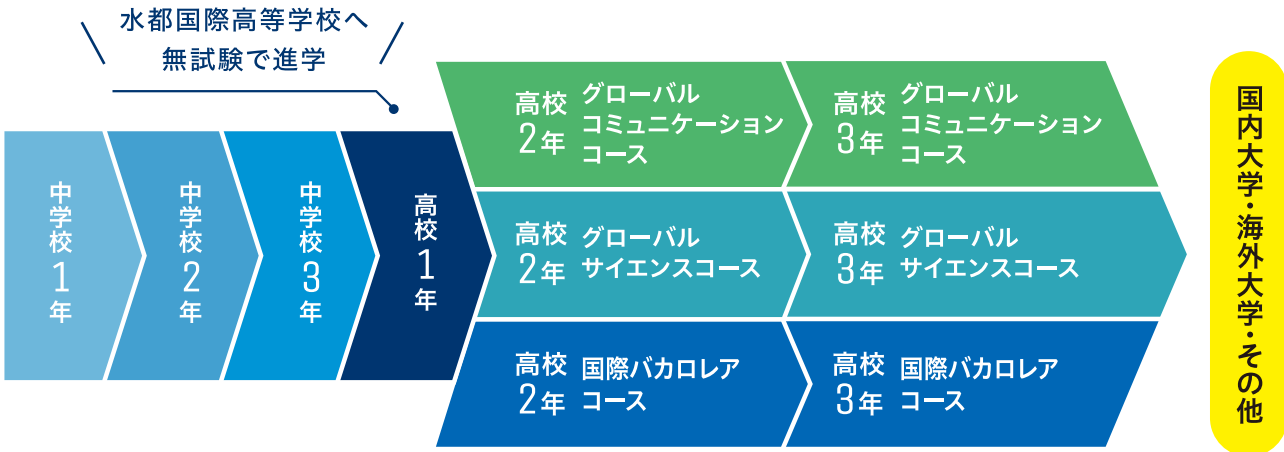


◆ 総合的な学習の時間
Creative Learning

「つくる」ことを通して、自己に潜り、他者を汲み、世界の複雑さを理解する学びを総合的な学習の時間を用いて1年生から3年生まで実施しています。



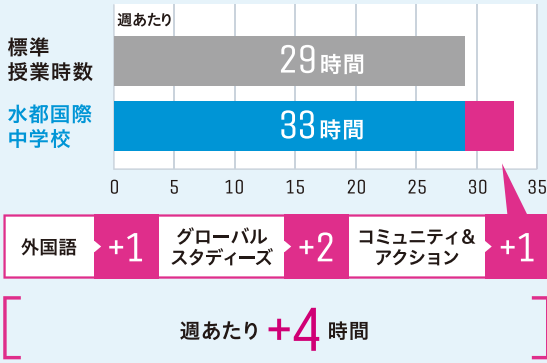
中高6年間のコースイメージ



教育課程

区分	第1学年		第2学年		第3学年	
	年間時数	標準時数	年間時数	標準時数	年間時数	標準時数
各教科	国語	140	140	140	105	105
	社会	105	105	105	140	140
	○数学	140	140	105	140	140
	○理科	105	105	140	140	140
	音楽	45	45	35	35	35
	美術	45	45	35	35	35
	保健体育	105	105	105	105	105
	技術家庭	70	70	70	35	35
	○外国語(英語)	175	140	175	140	140
	○グローバルスタディーズ(国際理解)	70	0	70	0	0
	○コミュニティ&アクション	35	0	35	0	0
	道徳	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間		50	50	70	70	70
特別活動		35	35	35	35	35
総授業時間		1155	1015	1155	1015	1015

○印は原則英語での授業



中学校1年生の時間割の例

	月	火	水	木	金
1	理	国	体	国	英
2	理	英	体	音	技
3	総	社	数	社	家
4	総	音	英	英	GS
5	数	保	社	数	国
6	英	数	国	GS	理
7		道	C&A	LHR	

将来、国際的な舞台で活躍するための、実践的なコミュニケーション能力や英語運用能力を習得するとともに、自ら課題を特定し、原因と解決方法を探究・確立するための論理的思考力の素地を養います。

コースイメージ

1
年次

必修科目

2・3
年次

■ グローバルコミュニケーションコース

■ グローバルサイエンスコース

■ 国際バカロレアコース

卒業後

■ 国内大学進学

■ 海外大学進学

■ 各種学校など

グローバル
コミュニケーションコース

地球市民として地域・国際社会で活躍するための実践的なコミュニケーション能力や英語運用能力を育成するコース

グローバル
サイエンスコース

自然科学分野において、国際的な舞台で科学的能力や知見を発揮して活躍できる人材を育成するコース

国際バカロレアコース

英語および日本語でDP授業を行い、国際バカロレア資格の取得をめざすコース

卒業時のめざすべき英語運用能力 → CEFR B2レベル [TOEFL IBT 72-94、英検準1級等]

授業紹介

◆ 国語

現代文、古文、漢文を学び、日本語や日本の文化を知り、文章を深く読み、分析します。同級生と対話をしながら、豊かな言葉を身に付けます。

◆ 世界史

歴史は繰り返します。故に歴史を学ぶことは未来を知ることといえます。現代社会の諸課題の原因を過去に遡って検証し、未来の社会を考察します。

◆ 化学基礎

英語ネイティブ教員の指導を基に実験やポスター・模型作成等で手を動かし、日本語でのサポートも得て、知識の定着を図ります。

◆ 英語

テーマに沿ったエッセイの作成や口頭試問等の4技能をバランス良く伸ばす課題を数多くこなし、国際社会で活躍できる英語力を身につけます。

特徴

- 01

多数者間折衝・交渉が可能なレベルの英語運用能力を身につけるための授業を実施します。
- 02

数学・理科・英語・グローバル 이슈 (国際理解) を原則英語で実施します。(学年・コースにより異なります。)
- 03

自ら課題を発見し、解決することを目的とした課題探究型授業を多く実施します。
- 04

国内・海外の大学や企業・地域社会と連携し、より深い学びの機会を提供します。
- 05

授業と関連付けた国内・海外研修を実施します。

教育課程

高校1年

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
現代の国語		言語文化		地理総合		歴史総合		数学Ⅰ			数学A		生物基礎		化学基礎		物理基礎		体育		保健	家庭基礎		情報Ⅰ		総合英語			グローバル探究Ⅰ	音楽Ⅰ/ 美術Ⅰ/ 書道Ⅰ			LHR
※ 英語で行われる授業 ※ 日本語・英語の選択が可能																																	

高校2・3年

■ グローバルコミュニケーションコース

2年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
	体育	保健	総合的な探究の時間 (TOK)	公共	グローバル探究Ⅱ	IB英語(言語B)								英語文化システム探究Ⅰ				論理国語		古典探究	理科基礎演習	世界史/日本史/地理 探究				数学Ⅱ				数学B		LHR	
																		IB国語				IB歴史											
3年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
	体育	総合的な探究の時間 (TOK)	グローバル探究Ⅲ	IB英語(言語B)								英語文化システム探究Ⅱ				論理国語		古典探究	世界史/日本史/地理 探究				IB歴史	地歴・公民演習		日本語・日本文化探究		数学演習		理科基礎演習		EE	LHR
																IB国語			IB歴史														

■ グローバルサイエンスコース

2年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
	体育	保健	総合的な探究の時間 (TOK)	公共	グローバル探究Ⅱ	IB英語(言語B)								英語文化システム探究Ⅰ				論理国語		古典探究	数学Ⅱ				数学B		化学				物理/生物	LHR	
																					IB数学				IB化学								
3年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
	体育	総合的な探究の時間 (TOK)	グローバル探究Ⅲ	IB英語(言語B)								英語文化システム探究Ⅱ				論理国語		古典探究	数学Ⅲ		数学C		化学		物理/生物	日本語・日本文化探究		地歴・公民演習		EE	LHR		
																			IB数学		IB化学												

■ 国際バカロレアコース

2年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
	体育	保健	総合的な探究の時間 (TOK)	公共	IB英語 (言語B)								IB美術/IB生物				IB国語				IB数学				IB歴史				IB化学			LHR	
					IB英語 (言語B)								IB生物				IB国語				IB数学				IB歴史				IB化学				
3年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
	体育	総合的な探究の時間 (TOK)	IB英語 (言語B)								IB美術/IB生物				IB国語				IB数学				IB歴史				IB化学			EE	LHR		
			IB英語 (言語B)								IB生物				IB国語				IB数学				IB歴史				IB化学						

※ 赤字: IB科目 ※ EE: Extended Essay ※ 英語で行われる授業 ※ 日本語・英語の選択が可能



国際バカロレア

INTERNATIONAL
BACCALAUREATE

国際バカロレア (IB) とは

国際バカロレア (IB: International Baccalaureate) は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、設置されました。世界の複雑さを理解し、対処できる生徒を育成し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格 (国際バカロレア資格) を与え、大学進学へのルート確保を目的としています。現在、認定校に対する共通カリキュラムの作成、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施しています。(文部科学省HPより)



IB教育の目指す10の学習者像

考える人 THINKERS	挑戦する人 RISK-TAKERS	探究する人 INQUIRERS	バランスのとれた人 BALANCED	思いやりのある人 CARING
心を開く人 OPEN-MINDED	知識のある人 KNOWLEDGEABLE	コミュニケーションができる人 COMMUNICATORS	信念を持つ人 PRINCIPLED	振り返りができる人 REFLECTIVE

水都国際での国際バカロレアコース

- 高校2年生の4月に開始し、高校3年生の11月に実施される外部試験で45点満点中、24点以上を習得すれば国際的に通用するフルディプロマ資格が認定されます。卒業時には日本の高等学校卒業資格 (グローバル探究科) も得ることができます。
- 水都国際ではDual Language Programme (英語と日本語で行うDPコース) を実施しています。特徴的な学習法として、教員や生徒による講義、対話型学習、グループ/ペアワークによる共同学習、プレゼンテーション、課題解決・探究型学習などがあげられます。これらをとおして、コミュニケーションスキル、自己管理スキル、リサーチスキル、社会性スキル、多角的思考力などを養い、社会で答えの分からない課題に直面した際の課題解決力を高めるとともに大学での学びに備えることができます。

水都国際ならではの国際バカロレアの特徴

FEATURE 01

高校2年次から国際バカロレアDP (ディプロマプログラム) の科目「英語」を全員が履修するとともに、国際バカロレアコース以外の生徒も国際バカロレアの一部の科目が選択可能。

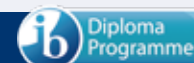
FEATURE 02

「TOK」を全員が履修。中学校も含め教科の学びにプラスして学校全体で「探究型の学び」に取り組んでいます。

FEATURE 03

公立学校の学費で国際バカロレアの履修が可能 (教材費用、最終試験費用は実費がかかります)。

DP科目と水都国際高校での実施



コア領域

- 知の理論 THEORY OF KNOWLEDGE: TOK ----- 知識とは何かという問いを深く探究します。
- CAS CREATIVITY, ACTIVITY, SERVICE ----- 体験的学習と振り返りを通じて成長をめざします。
- 課題論文 EXTENDED ESSAY ----- 自分のテーマについて探究し論文を作成します。

DP科目グループ

- | | | |
|----|---|--|
| 01 | 言語と文学
STUDIES IN LANGUAGE AND LITERATURE | 国語 (日本語で実施)
JAPANESE A: LANGUAGE AND LITERATURE (HLまたはSL) |
| 02 | 言語習得
LANGUAGE ACQUISITION | 英語 (英語で実施)
ENGLISH B (HLまたはSL) |
| 03 | 個人と社会
INDIVIDUALS AND SOCIETIES | 歴史 (日本語で実施)
HISTORY (HLまたはSL) |
| 04 | 科学
SCIENCE | 化学 (英語で実施)
CHEMISTRY (HLまたはSL) |
| 05 | 数学
MATHEMATICS | 数学 (英語で実施)
MATHEMATICS ANALYSIS AND APPROACHES |
| 06 | 芸術
THE ARTS | 美術または生物 (日本語)
VISUAL ARTS SL OR BIOLOGY (HLまたはSL) |

※HL=Higher Level, SL=Standard Level DP6科目のうち3科目をHLで履修する必要があります。 ※上記は2023年度以降の開講予定科目であり変更されることがあります。

国際バカロレアの授業紹介

◆ 言語と文学

さまざまな文学と非文学テキストを通して、言語そのものの特性や、アイデンティティーが言語に与える影響、また文学と文化の関わり等を学びます。



◆ 科学

科学的知識の習得を重視しつつ、実験データを読み取る力を身につけます。また、個人の研究テーマを持って実験を行い論文を作成します。



◆ 芸術

授業では作品制作だけではなく、作家・作品の比較研究や自身の作品のプロセスポートフォリオ、さらには作品の展示まで行います。



◆ 知の理論

知の理論では、知る人としての自身を振り返り、知識そのものの性質と知識を得るプロセスを様々な視点から探究していきます。



「社会とつながる水都の学び」とそこから広がる多様な進路

本校では主体的・対話的で深い学びの実現をめざし、授業や課外活動で社会とつながることを重視しています。広く、深く、社会について知見を蓄えた生徒がそれぞれ進みたい道へ進めるように様々なサポートがあります。高校ではグローバルコミュニケーションコース、グローバルサイエンスコース、国際バカロレアコースのどのコースからも、海外大学、国内大学をはじめ多様な進路へ進むことができます。

水都国際のキャリア教育のコンセプト



これまでの実践例

宇宙植物学の研究(NASAが出資しているウィスコンシン大学、ギルロイ研究所と協働)

宇宙空間でどのように植物が育つかをテーマとし、本校生徒の実験データが研究所をとおして国際宇宙ステーション(ISS)での実験などに使用されています。



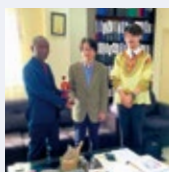
RESASプログラム(広島県立広島観智学園中学校と協働)

地方創生の様々な取り組みを情報面から支援するために経済産業省と内閣官房が提供しているデータを読み取り、広島県立広島観智学園中学校のRESASチームとフィールドワークやオンラインでの協議を通してそれぞれの地域の未来を考えるプログラムを実施しました。



国際協力、国際開発講演会(国際協力機構(JICA)、世界銀行、ユニセフと協働)

JICAに在籍していた教員が複数いることもあり、現地で上記機関で活躍されている方とオンラインでつなぎ、活動内容について講演をお聞きし、質疑応答などを定期的に行っています。その影響で本校入学後、国際協力や国際開発分野へ進路を定める生徒が増えてきています。



学校ICT活用の発表(Google For Educationと協働)

本校の生徒がICTを活用した学校生活について、教育総合展 Google For Educationのブースにて英語と日本語で事例発表を行いました。公立学校におけるICTの先進的な取り組みとして各方面から取材いただいています。



Suito Action Project for SDGs

Suito Action Project for SDGs(SA)はSDGsへの貢献を目指し、生徒それぞれの興味関心によって集まった中学1年～高校2年生の混成チームが、様々なアクションプロジェクトを行っています。それぞれのチームは1年間を通しプロジェクトを実施し、成果を確認、課題発見までを経験します。



Alumni voices

卒業生インタビュー

水都を卒業したOB・OGのリアルな声をお届けします。

「私が私になっていく」 きっかけをくれた場所

グローバルサイエンス(GS)コース 卒業

進学先 | 叡啓大学 ソーシャルシステムデザイン学部・
ソーシャルシステムデザイン学科

水都での学びには能動的な場面が多くありました。挑戦をした者には、高校生からは想像もつかないような試練が待ち受けていますが、その分得られるものは飛躍的な自分の進化と、他では味わえないほどの大きな達成感です。そして、そんな挑戦を躊躇しながらも心のどこかでワクワクしている、そんな最高の仲間が集うプラットフォームが水都なんだと思います。

水都という舞台は、まさしく「私が私になっていく」きっかけをくれた場所でした。具体的にどんな私になれているのかは未だに明確ではありませんが、少なくとも自分のことを主人公だと思えるように導いてくれたのは、紛れもなく水都という環境でした。



「学ぶのが楽しい」と 実感することができた

IBコース(理系) 卒業

進学先 | The University of Melbourne
Bachelor of Science
Environmental Engineering Systems 専攻

水都へ入学した1番のきっかけは、国際バカロレア(IB)コースがあるという点でした。私は海外に対して漠然とした憧れがあり、学生のうちには必ず海外留学したいと考えていました。しかし、私は昔から英会話教室に通っていたわけではなく、知っているのは中学で習う英文法くらい。「高校で実用的な英語力を向上させるにはどの方法が効果的か」と悩んでいた矢先、IBの存在を知りました。

IBは私が望んでいた理想に近いカリキュラムが備わっていました。英語で授業を受けられる点のみならず、能動的で批判的思考を育む授業スタイルは、まさに私が求めていたものでした。「学ぶのが楽しい」と実感することができましたし、自身が理想とする学習者の姿に近づくことができたと考えています。



THE SUITO MODEL

What is the Suito Model?

水都モデルとは、私たち水都国際コミュニティが目指す人物像のことです。

私たちは、これらのキャラクターを指針として、社会全体にポジティブな影響を及ぼすよう自分自身でより良い行動を選択します。

このモデルキャラクターを通じて、

水都国際のフィロソフィーである「3E」に沿った、尊敬、思いやり、感謝、安全の文化を創造します。

3E ENCOURAGE • ENGAGE • EMPOWER

目指す人物像

- 社会全体にポジティブな影響を与えられる人
- 明るく過ごしやすい空間を作り出そうとする人
- 自分の長所を理解し、活かす人
- 他人の考えや少数派の意見も大切にすること人
- 自分にできる努力をする人
- 自分の意志を持って行動する人
- 思いやりと感謝の気持ちを持つ人
- 仲間と支え合い、成長する人

生徒と教職員が協働して創り上げた水都モデル

まず、全生徒と教職員から、水都を素晴らしいものに行っている要素や行動、取り組むべきと思われる行動を募集しました。集めた意見を生徒と教職員が協働して分析し、似たようなアイデアをまとめ、「水都モデル」という表現でまとめました。また、水都を取り巻くコミュニティの全員が理解できるように何度も調整を重ねました。さらに、生徒は英語にも翻訳し、日本語版と英語版でニュアンスの違いがないように気を配りながら調整を行いました。



ANNUAL EVENTS

年間行事



*アカデミックフェア:日頃の学習成果を発表する機会 ※変更の可能性あり



みつける、つなげる、つくっていく

GLOBAL ACTION PROJECT IN SUITO 課外活動 [GAPS]

すべての課外活動を『Global Action Project in Suito (GAPS)』の一環と捉え、生徒たちの主体的な学びを支援します。

自ら考え、実現し、振り返るスキルを養います。

GAPSのシステム

活動を希望する生徒が集い、活動内容、活動頻度等を協議

生徒会に申請・プレゼンテーションを行う

生徒会がGAPSを承認、活動開始!

これまでのGAPS活動例

- 柔道部 ■ バドミントン部 ■ 高校バスケットボール部 ■ 中学バスケットボール部 ■ ダンス部
- バレーボール部 ■ サッカー部 ■ 野球部 ■ 硬式テニス部 ■ モルック部 Molkky Club ■ 体操部
- マインクラフト研究部 ■ 水都国際競技かるた部 ■ WNB ■ Library Fairy ■ 文芸部
- 水都国際防災部 ■ 水都国際軽音楽部 ■ 茶道に親しむ会 ■ English Room
- Contents Creation Club ■ 科学研究部 ■ 放送研究部 ■ LEGO研究部 ■ 美術部 ■ 手話部
- 写真研究部 ■ フットサル部

学校行事・GAPS・その他学校生活の最新情報はブログにて随時更新中!



SCHOOL FACILITIES

生徒の意欲を引き出す充実した施設・設備を
紹介します。

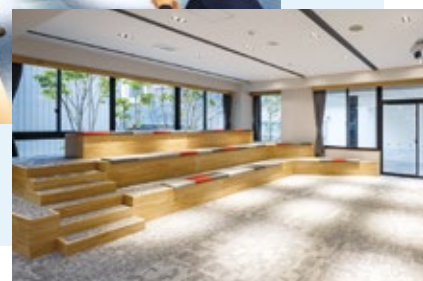


*Have a good
school day*



グローバルスタジオ

生徒同士で対話しながら
楽しく学べる！



レクチャーシアター



調理実習室



音楽室



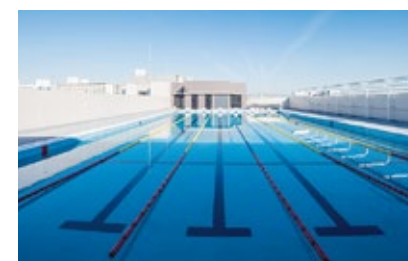
剣道場



サブグラウンド



アリーナ



プール



大ホール



スチューデントラウンジ

水都国際中学校・高等学校の制服

OSAKA PREFECTURAL SUITO KOKUSAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL
UNIFORM

自分らしさを大切にしたい
着こなしが可能です

ボタン

光を反射するオリジナル
デザイン。
暗がりの安全性を配慮。



志を胸に。
水都国際の
象徴エンブレム。



校章 国際社会を渡る生徒を
育成する

“海を渡り 世界に羽ばたく海鳥”
筆を持つ鳥は知性と勇気を兼ね
備えた、新世代の若者の象徴
です。



ネクタイ / リボンは
中学は赤、高校は青
で色分け

キュロットスカート

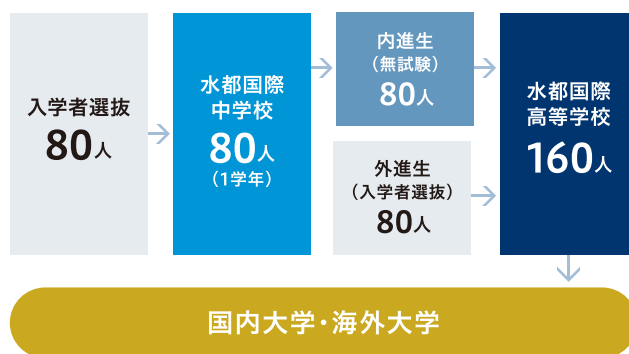
裾にワンポイント「S」
刺繍入り。後ろはボク
クスプリーツデザイン。



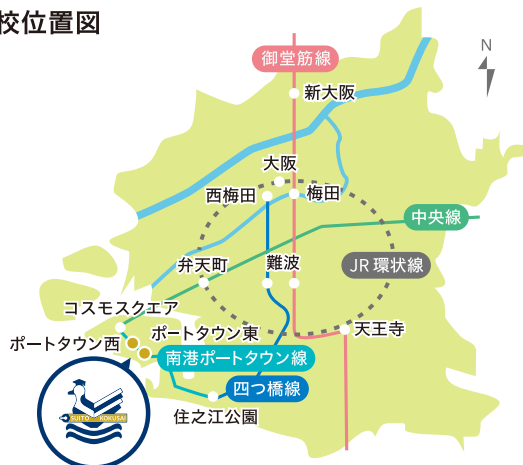
施設



入学から卒業までの流れ



学校位置図



大阪府立水都国際中学校・高等学校
Osaka Prefectural Suito Kokusai
Junior & Senior High School

〒559-0033 大阪府大阪市住之江区南港中3-7-13
TEL 06-7662-9600(中学校) / 06-7662-9601(高校)
FAX 06-7662-9602
E-mail school-inquiry@osakaymca.org
HP <https://osaka-city-ib.jp/>

学校説明会・オープンスクールを随時開催！
詳しくはWebサイトにてご確認ください。

